



特定非営利活動法人 鳥の劇場

〒689-0405 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1

電話・ファックス 0857-84-3268

電子メール info@birdtheatre.org

ウェブサイト www.birdtheatre.org

特定非営利活動法人 鳥の劇場

2022年度 活動報告書

熱をわかちあい、熱をつくろう。
さらに新しい劇場のあり方へ。



劇場が地域の中にあり、演劇の専門家がそこにいる、それによって何が生まれるか。試行錯誤の挑戦17年目の報告です。劇場はもちろん劇場以外の場所でも、実にいろんなことをやっています。ご覧いただけるのはほんの断片ではありますが、本報告書を通じて、現場の空気をお感じください。そしてみなさん、ぜひわれわれの現場に足をお運びください。

鳥の劇場芸術監督 中島諒人



02 | ご挨拶・目次

04 | 活動の概要

06 | 年間プログラム

12 | じゅう劇場

13 | 鳥の演劇祭 15

18 | トリジューク・アウトリーチ・その他の活動

19 | 収支決算



V 活動の概要

来場者数など ※()内は前年度(2021年度)の実績

(1)鳥の劇場への年間来場者数

・年間プログラム	3,678人(1,500人)
・鳥の演劇祭15	1,780人(1,263人)
・鳥の劇場で実施されたその他の事業	964人(738人)
・見学・視察	108人(59人)
合計	6,530人(3,560人)

(2)鳥の劇場以外で実施した活動への参加者数・来場者数

・アウトリーチ活動(学校等での上演を含む)	2,184人(2,698人)
・鳥の劇場以外での上演	2,480人(1,617人)
合計	4,664人(4,315人)

ボランティア・サポーター

(1)鳥のボランティア(登録制)

主に「鳥の演劇祭15」の準備・実施期間において、DM発送の準備・受付準備・カフェのお手伝い・ギャラリーの監視員など、延べ38人の方がボランティアとして参加(前年度49人)。

(2)サポーター

年間一口5,000円の寄付をお願いしている。2022年度は236人の方から1,155口の寄付が寄せられた(人数には団体や法人を含む)。

2020年に金沢で上演し、「鳥取でも!」と思っていたOEKの生演奏版『葵上』。極上の演奏に合わせて演じることの嬉しさよ!嬉しかったといえば『三人姉妹』。ずっとやりたかった演目を上演できた喜び!それプラス、地元のお客様のご協力があり、本物の自動販売機をセットとして手配できたので、道具担当としてのばねえ達成感がありました。(齊藤頼陽)



V 年間プログラム

現代演劇創作・発信拠点としての鳥の劇場の活動の
中心がこの年間プログラムです。

■期間：2021年4月～2022年3月

■会場：鳥の劇場

■実施：年間プログラム来場者（延べ）3,678人

創るプログラム

- ◎イワンのばか
- ◎葵上
- ◎三人姉妹

いっしょにやる プログラム

- ◎子どものための
「小鳥の学校」
- ◎戯曲講座
- ◎おとなな劇場

【主催】 特定非営利活動法人鳥の劇場

【助成】  文化庁

文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）

独立行政法人日本芸術文化振興会

令和4年度鳥取県文化芸術地域モデル全国発信事業補助金

【後援】 鳥取県 鳥取市 鳥取県教育委員会 鳥取市教育委員会

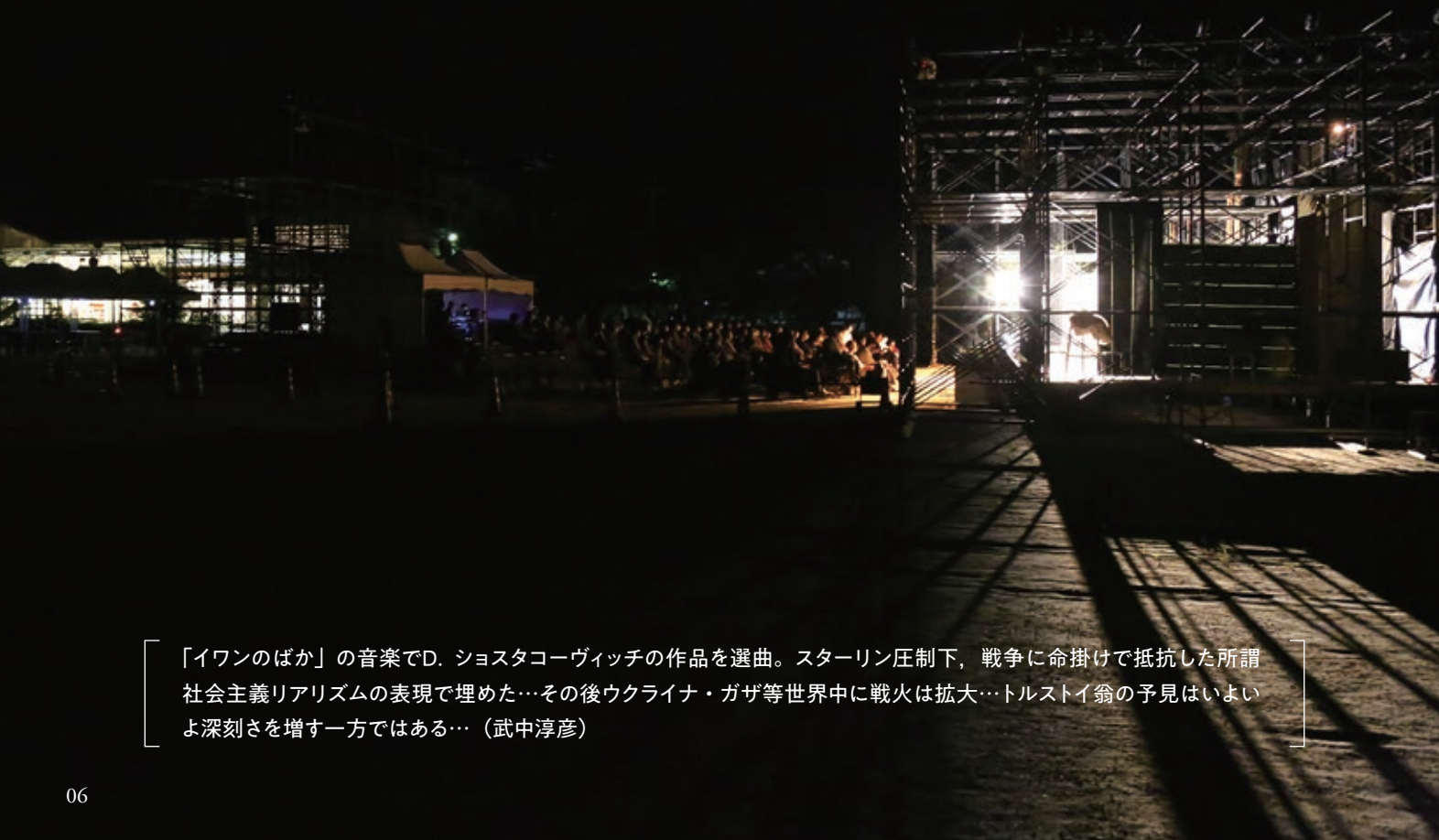
NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会

鳥取大学地域学部附属芸術文化センター 新日本海新聞社

株式会社ふると鹿野



創るプログラム
イワンのばか



「イワンのばか」の音楽でD. ショスタコーヴィッチの作品を選曲。スターリン压制下、戦争に命掛けて抵抗した所謂
社会主義リアリズムの表現で埋めた…その後ウクライナ・ガザ等世界中に戦火は拡大…トルストイ翁の予見はいよいよ
深刻さを増す一方ではある…（武中淳彦）



Ψ 創るプログラム
葵上



Ψ 創るプログラム
三人姉妹



2022年度のベストな思い出といえば「三人姉妹」でしょう。舞台装置に本物の自動販売機を設置。毎日本番でノンアルビールが飲めた。強力な客演陣のおかげで毎日楽しかった。大道無門さんの描いた齊藤の油絵は今でもホワイエで吠えている。(高橋 等)

子どものための「小鳥の学校」

↓↓
いっしょにやるプログラム



戯曲講座

↓↓
いっしょにやるプログラム



おとなな劇場

↓↓
いっしょにやるプログラム



コロナ感染予防を強化しながらの2022年度。「イワン」出演。「とある村」「葵上」「貴婦人」舞台スタッフ。「タイムスリップツアー」「ロミオとジュリエット」出演。その直後にコロナ発症、自宅療養後も、2~3月「三人姉妹」まで疲労感と咳が残った。(赤羽三郎)

じゅう劇場

障がいのある人となない人がいっしょに
舞台作品をつくるプロジェクト



とある村



「赤ずきん」から生まれたもの



写真展「池本喜巳が「じゅう」を撮った」鳥の劇場



「ロミオとジュリエット」から生まれたもの 2022

6月に韓国から、8月にアメリカから演出家や俳優が来日してそれぞれじゅう劇場と作品を創作した。コロナ対策も徹底し、無事に上演できて、本当にほっとした。同じ空間にいて一つの作品を作ることがこんなに新鮮で、嬉しいものなのかと驚いた印象的な1年だった。(安田茉耶)



鳥の演劇祭 15

開催テーマ：とべ！

■期間：9月16日(金)、9月17日(土)、9月18日(日)
9月19日(月・祝)、9月23日(金・祝)、9月24日(土)
9月25日(日)、10月1日(土)、10月2日(日)

※9月19日(月・祝)に予定されていたプログラムは、台風により中止となりました。

■会場：鳥の劇場、特設野外劇場、鹿野町内、
ARTCUBEキチュールシカノ



タイムスリップツアー「茂子の皆勤賞」with 小鳥や鳥大生や町の人たち

上演プログラム

BRECHT ON BRECHT 音楽劇 プレヒト、プレヒトを語る
老貴夫人の訪問
地獄極楽 妖怪ショー!! (台風のため中止)

日米合作 バックさんの魔法／美のことなり

タイムスリップツアー「茂子の皆勤賞」with 小鳥や鳥大生や町の人たち
「胎内」自然と共生する舞台芸術—世界の未来に向けて

シアター・プレーキング・スルー・バリアーズ(TBTB) [アメリカ]
鳥の劇場 [鳥取]

目黒大路 [京都]

シアター・プレーキング・スルー・バリアーズ(TBTB) [アメリカ]
×じゅう劇場 [鳥取]

鳥の劇場 [鳥取]

鳥の劇場プロデュース作品

上演・フォーラム

山陰海岸ジオパークフォーラム「えっ!演劇とジオ?」(台風のため中止)

上演(リーディング)

アメリカ短編戯曲リーディング

ロブ・ウルビナーティ [アメリカ] × じゅう劇場 × 鳥の劇場

ワークショップ・ものづくりワークショップ

逃げるために読むプレヒト
カラダで〈詩〉を作ってみよう! (台風により中止)
[演劇] 短編戯曲の書き方を学ぼう!
[音楽] はじめてのメロディ
[写真] 観る、考える、伝える写真術
[美術] “あいうえお”を脱構築!
[映像] モジャと小松の「動画で語ろう」

萩原雄太
大岡淳
ロブ・ウルビナーティ [アメリカ]
武中敦彦
水本俊也
ジャンフランソワ・ギヨン [フランス]
服部かつゆき・小松亜希恵・河原弘明

トーク・対談

ドイツの劇作家プレヒトとアメリカ
演劇の公共圏について
一週目まとめの対談
じゅう TBTB コラボの三年の軌跡
「利他」と表現

二週目まとめの対談

ニコラス・ヴィセリ
内野儀
ニコラス・ヴィセリ・内野儀・中島諒人
ニコラス・ヴィセリ・中島諒人ほか
伊藤亜紗・播磨靖夫
伊藤亜紗・シアター・プレーキング・スルー・バリアーズ(TBTB)・
じゅう劇場

展示プログラム

意味の壁を越える

ジャンフランソワ・ギヨン

関連企画

小鳥の家族

水本俊也



野外での『老貴婦人の訪問』。バッチリなタイミングで雨が降り出したとお客様の声。背景のお堀、夜の空気、雨…。その時だけの体験でまさに演劇🌟『タイムスリップツアー』では、ガイドとしてお客様と鹿野の町を歩き、間近に感じる反応がとても楽しかった! (後藤詩織)



老貴婦人の訪問



日米合作『バックさんの魔法／美のこなり』



『胎内』自然と強制する舞台芸術 - 世界の未来に向けて



BRECHT ON BRECHT 音楽劇 プレヒト、プレヒトを語る



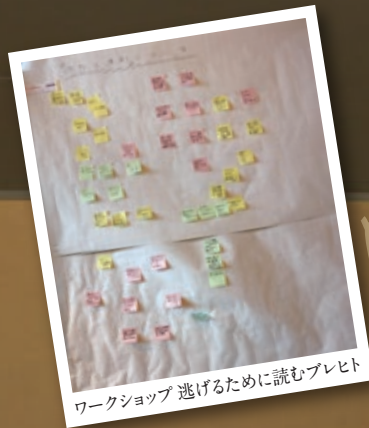
アメリカ短編戯曲リーディング「テンベスツ」



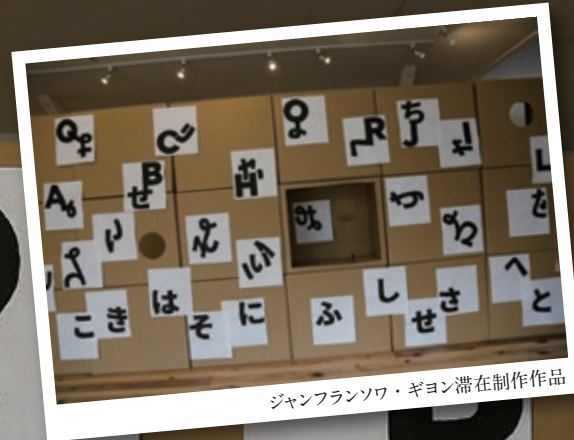
タイムスリップツアー『茂子の皆勤賞』with 小鳥や鳥大生や町の人たち



[映像] モジヤと小松の「動画で語ろう」



ワークショップ 逃げるために読むブレイト



ジャンフランソワ・ギヨン滞在制作作品



[写真] 観る、考える、伝える写真術



[美術] “あいうえお”を脱構築!



[音楽] はじめてのメロディ



[美術] “あいうえお”を脱構築!



[演劇] 短編戯曲の書き方を学ぼう!



トーク ドイツの劇作家ブレイトとアメリカ



ジャンフランソワ・ギヨン『意味の壁を越える』



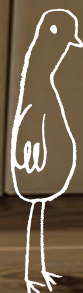
ショート・パフォーマンス「翻訳の逆襲」



対談「利他」と表現



トーク じゅう TBTB コラボの三年の軌跡





↓
トリジユク・
アウトリーチ・
その他の活動

アナシと5



劇場空間体験事業



トリジユク



山陰ジオパークフォーラム「え!演劇とジオ!」



児童生徒を対象とした文化芸術事業



ラーニングワーケーション@鳥取市鹿野町モニターツアー



文化祭支援

鳥の劇場 2022年度収支決算

収入の部

単位：円／％

	2022年度		2021年度		比較
科目	決算額(a)	構成比	決算額(b)	構成比	(a)－(b)
チケット収入・受講料	4,765,500	4.2%	3,591,400	3.6%	1,174,100
外部上演料・講師料・出演料等	25,010,759	22.1%	16,958,309	16.9%	8,052,450
受託費	24,733,858	21.9%	58,268,407	58.1%	△ 33,534,549
鳥カフェ・物販売上	836,603	0.7%	502,592	0.5%	334,011
雑収入	8,580,543	7.6%	2,588,763	2.6%	5,991,780
寄付金(サポーター) ※1	5,775,000	5.1%	7,680,000	7.7%	△ 1,905,000
寄付金(企業協賛ほか)、受取会費 ※2	1,480,400	1.3%	50,000	0.0%	1,430,400
助成金・補助金	41,994,936	37.1%	10,713,000	10.7%	31,281,936
合計(A)	113,177,599	100.0%	100,352,471	100.0%	12,825,128

※1 2021年度：399人/1,536口、2022年度：236人/1,155口（人数には団体や法人を含む）

2021年度：公益社団法人企業メセナ協議会の助成認定制度を活用した寄付金含む「小鳥の学校」事業に対し1,700,000円

※2 2022年度：ふるさと納税（ギフ鳥）制度を活用した寄付金（20%の手数料を差引いた額:1,430,400円）を含む

支出の部

単位：円／％

		2022年度		2021年度		比較
科目		決算額(b)	構成比	決算額(a)	構成比	(a)－(b)
事業費	メンバー人件費	31,385,069	29.3%	32,798,400	35.5%	△ 1,413,331
	その他	58,765,305	54.9%	43,754,976	47.4%	15,010,329
管理費・その他		16,948,410	15.8%	15,755,172	17.1%	1,193,238
合計(B)		107,098,784	100.0%	92,308,548	100.0%	14,790,236

収支差額(A)－(B)	6,078,815		8,043,923		
-------------	-----------	--	-----------	--	--

助成金・補助金内訳

単位：円／％

	2022年度		2021年度		比較
科目	決算額(b)	構成比	決算額(a)	構成比	(a)－(b)
文化庁 ※1	21,202,000	50.49%	6,000,000	56.01%	15,202,000
鳥取県 ※2	10,000,000	23.81%	3,356,000	31.33%	6,644,000
国際交流基金 ※3	7,916,336	18.85%	0	0.00%	7,916,336
公益財団法人関西大阪21世紀協会 ※4	2,389,000	5.69%	0	0.00%	2,389,000
アンスティチュ・フランセ ※5	293,600	0.70%	0	0.00%	293,600
コロナ関連 ※6	194,000	0.46%	1,357,000	12.67%	△ 1,163,000
合計	41,994,936	100.00%	10,713,000	100.00%	31,281,936

※1 2021年度：令和2年度第3次補正予算 Arts for the future!（コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援金）

2022年度：劇場・音楽堂等機能強化推進事業

※2 文化芸術地域モデル全国発信事業補助金

※3 令和4年度舞台芸術国際共同制作事業（TBTB×じゆう劇場の活動に対して）

※4 2022年度日本万国博覧会記念基金事業助成金（TBTB×じゆう劇場の活動に対して）

※5 ジャンフランソワ・ギヨンの滞在制作に対しての助成

※6 鳥取県R4新型コロナウイルス感染予防対策推進補助金

鳥の劇場運営委員会への補助金

◎「鳥の演劇祭15」・「豊岡連携」・表現WS「トリジユク」・「イワンのばか米子公演」 鳥取県「鳥の劇場運営委員会補助金」	39,248,500円
※文化庁「文化芸術創造拠点形成事業」からの補助金を含む 鳥取市「鳥取市文化芸術事業に関する補助金」	1,000,000円

◎「じゆう劇場」 鳥取県「鳥取県障がい者と健常者がともに作る芸術事業補助金」	19,000,000円
※文化庁「文化芸術創造拠点形成事業」からの補助金を含む	

学校公演の朝は早い。劇団車1台に積み込み乗り込み、朝7時台に出発、1～2時間運転して体育館へ。広さ、天井の高さ、音の響き、どの体育館もちがって味わい深い。地域や学年によるノリのちがいもおもしろかった。また会えるとうれしい。できれば劇場で!（中川玲奈）